

農林水産分野のキャリアプラン

分 野	農林水産分野
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部管理事務 <ul style="list-style-type: none"> ○ 総務・議会、人事・労務、予算・経理（会計）、その他一般総務関係等 ● 各種事業に係る事務 <ul style="list-style-type: none"> ○ 組合指導、食品表示・卸売市場関連事務、農地法・農振法・土地改良法関連事務、野生イノシシ対策関連事務、県有林関連事務、その他各種補助事業関係事務等
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業水産局、農林基盤局、本庁各課 ・ 農業水産局、農林基盤局、地方機関 ・ 他分野の本庁各課又は地方機関
めざす 職員像	高い実務能力と協調性を備え、県の農林水産部門を多角的な視点で見渡すことができ、円滑に農林水産行政を運営する能力がある職員
育成の考え方	

<主事級（ジョブローテーション期間）>

【職員としての基礎固め】

ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、個の能力を高めていく。

<主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級>

【キャリアの軸探し】

今後のキャリアの軸を探すために、特定の分野の業務に継続的に取り組み、自らの適性を考えつつ、専門能力を高めていく。

<主査級・課長補佐級>

【実務の要＋グループ運営の補佐】

実務の要として主体的に企画・立案を行い、事業を推進するとともに、将来の管理的立場を意識して、更なる能力の向上を図り、自らの専門性の見極めを行う。

また、グループの中核として、円滑な業務推進や困難な課題の解決に取り組むとともに、これまでのキャリアを踏まえて、将来必要とされる能力を伸ばす。

<課長補佐級（班長）>

【グループマネジメント力の発揮】

これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。

《農林水産分野のキャリアイメージ》

区分	農林水産分野			
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	キャリアプラン例①	キャリアプラン例②
新規採用	<p>【職員としての基礎固め】</p> <p>□共通口</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の所属の業務に従事する中で、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <p><ジョブローテーション期間における、配属又は異動の考え方></p> <p>県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を経験できるよう計画的に異動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①複数の局を経験する。 ②可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。 ③3ヶ所の所属を経験する。 <p>※異なる職務分野を経験することを原則とする。</p> <p>■分野特有■</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。 	<p>①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク</p> <p>【期待される事務レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属の庶務、支出、物品管理 担当事務に係る予算要求 担当事務に係る法規則の理解と運用 内外の関係者との調整、相談対応 	<p>採用所属（地方機関）</p> <p>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理G ・分野内本庁 ・事業</p> <p>農業水産局農政部 農政課 予算G ・分野内主管課</p> <p>農林基盤局農地部 農林総務課 予算G ・分野内主管課</p> <p>農業水産局農政部 食育消費流通課 市場・食品表示G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験</p> <p>総務局総務部法務文書課 法規G ・分野外本庁 ・法制執務 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる</p> <p>農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約G ・分野内主管課 ・事業課の経験を活かす</p> <p>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理G ・分野内本庁 ・2回目の所属経験 ・主要業務を担う</p> <p>農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約G ・分野内主管課 ・現場の経験を活かす</p> <p>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理G（班長） ・これまでの経験を活かす（内部管理）</p>	<p>採用所属（地方機関）</p> <p>福祉局障害福祉課 事業所指導第一G ・分野外本庁 ・事業</p> <p>農業水産局農政部 農政課 予算G ・分野内主管課</p> <p>農業水産局農政部 食育消費流通課 市場・食品表示G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験</p> <p>尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約G ・分野内地方機関 ・本庁と地方機関をバランスよく経験</p> <p>尾張県民事事務所 防災安全課 防災安全G ・分野外地方機関 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる</p> <p>農業水産局農政部 農業振興課 農地管理G ・分野内本庁 ・2回目の所属経験 ・主要業務を担う</p> <p>農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約G ・分野内主管課 ・現場の経験を活かす</p> <p>尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約G（班長） ・これまでの経験を活かす（内部管理）</p>
主事級 (採用後7年間)	<p>【キャリアの軸探し】</p> <p>□共通口</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 キャリアの軸が定まっていない場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 <p>■分野特有■</p> <ul style="list-style-type: none"> 局内調整を行う所属を経験し、局内の調整方法を身につける。 様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政への理解を深める。 主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。 他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。 	<p>①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成</p> <p>【期待される事務レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属の庶務や予算の総括 府内会議や市町村向け説明会の開催 担当事務に係る企画・立案 幹部相談資料の作成 		
主事・主任級 (採用8年目から 主査級昇任まで)	<p>【実務の要+グループ運営の補佐】</p> <p>□共通口</p> <ul style="list-style-type: none"> 実務の要として、グループの主要業務を担う。 主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 キャリアの軸が定まっていない場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 一度経験した所属（業務）を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 <p>■分野特有■</p> <ul style="list-style-type: none"> 局内の調整を行う所属で、主要施策の調整を行い、局内調整力に加えて、対外折衝力を身につける。 様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政を多角的に見渡すことができる視点と、円滑に運営する能力を身に付ける。 主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。 	<p>①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力</p> <p>【期待される事務レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 局の予算・人事総括、会検対応 審議会等の外部有識者会議の開催 担当事務について、高度な調整が必要となる案件への対応 知事相談・報告資料の作成 議会答弁作成 		
主査級 ・ 課長補佐級	<p>【グループマネジメント力の発揮】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。 	<p>①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力</p>		
課長補佐級 (グループ班長)				